

委員ヒアリングに寄せられた意見

菊地委員

■ 意見書案に対する意見

- ・ 意見書の前文では新型コロナウイルスの影響（審議への影響）が書かれていますが、一連の出来事により感染症指定医療機関としての公立病院のあり方について、これまでにない注目があつまったものと思います。新病院の建設は既存の青葉病院の病床にも影響をあたえるので、何らかの形（たとえば、「今回の新型コロナウイルス感染症の拡大は、感染症指定医療機関としての公立病院の重要性をあらためて示すものとなったが、将来にわたって安定的な対応が可能となるよう、あらためて計画に位置付けること」など）でふれておく必要はありませんでしょうか。市民の視点からは当然ふれておくべきものが、ふれられていない（議論していない）とみえるのはやや問題のような気もいたします。実際、小職が欠席した前回では議論があったようですので、ご検討いただけましたら幸いです。必ず必要というほどでもありませんが、念のため指摘させていただきます。

林委員

■ 全体に対する意見

- ・ 市立病院事業の一層の充実が図られるよう、市民に公表していく姿勢を継続したいものです。定期的に病院事業の現状について実態調査をし、調査結果を公表し、改善の骨格や方向を示し、実践結果をまた公表していきます。（できれば責任の所在が明らかだとさらに望ましいです）市立病院事業が健全に為されていることを市民が認識することで病院への信頼が一層増し、病院職員、ひいては千葉市民としての確かな誇りにも繋がっていくものだと思います。

藤田委員

■ 意見書案に対する意見

- ・ 意見書案についてです。「1 基本構想（案）の妥当性について」において、「青葉病院からの移行病床数が40床のみの場合、現在の両市立病院の病床総数が増加することとなり……（中略）……適切でないという意見もあった。新病院の開院を見据えた青葉病院の将来計画についても早急に検討されたい。」とありますが、「新病院の開院を見据えた青葉病院の将来計画についても早急に検討されたい」という記述には違和感と不安感を禁じ得ません。青葉病院が、厚生労働省の病床削減の「公立・公的病院再編統合リスト」で名指しされているからです。

私は、相次ぐ災害や新型コロナウイルス等の感染症から市民の生命と健康を守るためには、厚生労働省の「公立・公的病院再編統合リスト」に表れているような病床削減ではなく、市民が将来にわたって安心して医療を受けられるよう公立病院が果たす役割はますます重要との考えから、第6回検討委員会において「公立病院の果たす役割について他の委員の意見を伺いたい」旨発言しました。病床数を削減するのではなく、今回の新型コロナウイルス感染拡大のような新たな感染症が起きることを想定して、国の基準に縛られることなく受け入れ

できる病床を確保しておくことが公立病院の役割ではないかと思います。